

札幌が抱えている主な悩み

- 人口減少** 2060年には人口が約40万人減少し、約4割が65歳以上の高齢者となるが見込まれています。
- 施設の老朽化** 1970～1980年代に整備された市有施設が老朽化して、一斉に更新時期を迎えています。人口減少が見込まれる中、時代に合った公共施設の在り方の検討が必要です。

市況が変化する中でも、暮らしやすい街を維持しつつ街の魅力をさらに高めて、将来世代に引き継ぐことが大切

今までは
札幌の
悩みを
見てみよう



札幌の目指すべき都市像

「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、豊かな暮らしと新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ

まちづくりの重要概念

- ユニバーサル（共生）** 誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会の実現
- ウェルネス（健康）** 誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会の実現
- スマート（快適・先端）** 誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できる社会の実現



札幌の強みを生かしてより魅力的な街を目指すんだね

目指すべき都市像を実現するためのアクションプラン2023のポイント

計画の構成

- 事業数は599、5年間の事業費は合計1兆7,854億円
- 「子ども・若者」「生活・暮らし」「地域」「安全・安心」「経済」「スポーツ・文化」「環境」「都市空間」の8分野のまちづくりの取り組みと、行財政運営の取り組みで構成
- 上記の8分野の連携を取りながら、目指すべき都市像の実現を図る

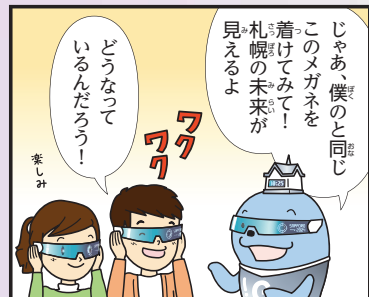
市が2023年度から2027年度に取り組みがまとまっている計画だよ！



特に力を入れる取り組み

- 子どもや子育てに関する施策のさらなる充実
- 都市のリニューアルなどの街の魅力と活力のさらなる向上
- 脱炭素社会や共生社会の実現

いろいろな取り組みが合わさって札幌がさらに発展していくんだね！



どうなる？ 札幌の未来

皆さんからの意見を踏まえ、5年間のまちづくりの計画「第2次まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」が完成しました。計画通りに進むと、5年間で札幌の街はどう変わっていくのか？
ギョウ太、ヒロキ、リコと一緒に見ていきます。

詳細
まちづくりの取り組みは政策調整課 ☎211-2206
行政運営の取り組みは推進課 ☎211-2061
財政運営の取り組みは財政課 ☎211-2212

登場人物



ギョウ太
南区で太古の化石が発見されたジュゴンの仲間「サツポロカイギュウ」の子孫。世話好き



ヒロキ
道外出身で寒さが苦手。少しドジだが、どこか憎めない



リコ
ヒロキの2歳年上の妻。ヒロキの失敗をいつも優しく見守る

未来のギョウ太が登場!?



こうなる!

※予算額は5年間の金額
※計画の事業の一部を抜粋

生活・暮らし

多くの人が健康づくりに取り組んでいる

企業や大学などと協力して、健康に関する知識や運動する機会の提供、食育の推進といった、さまざまな健康づくりの取り組みを充実させます。多くの人が健康への意識を高め、それぞれの生活に合わせた健康的な行動が習慣になっています。

3億6,200万円

経済

強みを生かした産業が成長して経済がさらに活性化

地域経済をけん引することを目指す企業を支援。雇用の拡大や市内企業のさらなる成長につながっています。

4億4,400万円

半導体産業やデジタル産業で活躍する人材を育てることなどで、関連分野の企業が集まっています。

6,800万円

生活・暮らし

大雪にも迅速に対応

大雪の時にも適切に対応できる除排雪体制を引き続き確保。ICT（情報通信技術）を活用してより効率的な除排雪を行うなど、将来にわたって持続可能な雪対策を行っています。

1,197億5,200万円

生活・暮らし

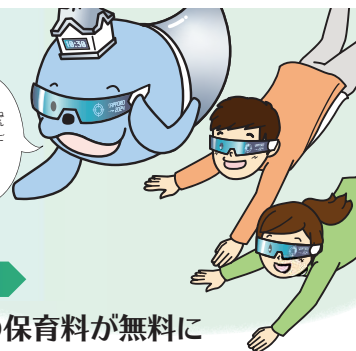
バリアフリー化が進んでいる

市の公共施設や、宿泊施設などの民間施設のバリアフリー化が進み、誰もが安心して快適に移動や滞在ができる場所が増えています。

268億2,100万円

札幌の5年後

5年後の札幌を
見てみよう!



子ども・若者

子ども医療費の助成対象が拡大

通院と入院にかかる医療費の助成対象を、本年4月からは中学生までに、来年4月からは高校生までに順次拡大。子育て世帯の負担が軽減されています。

52億4,000万円

子ども・若者

第2子以降の保育料が無料に

本年4月から、世帯の年収や兄弟姉妹の年齢の差に関係なく、2人目以降の子ども保育料が無料に。子育てを支援する環境づくりが進んでいます。

※認可保育所、認定こども園（保育所部分）、地域型保育事業所が対象

15億2,000万円



安全・安心

救急医療がより早く適切に

救急隊を36隊に増強。また、救急隊から病院への情報伝達にアプリを導入することで、より早く正確に患者に関する情報を伝えることが可能に。病院での受け入れの判断と救急搬送も迅速化しています。

2億5,500万円

休日や夜間の救急患者の受け入れ体制がさらに充実。インフルエンザなどの流行時期には、引き続き臨時の小児外来を設置しています。

99億1,300万円

地域

共生社会の実現への取り組みが進んでいる

年齢や性別、障がいの有無、国籍、民族などの違いに応じた制度やサービスが充実。誰もが互いに個性や能力を認め合う共生社会を引き続き目指しています。

行政運営の主な取り組み

～仕事の進め方の工夫

今後、人口減少などにより人材や財源が限られてくることが見込まれる中、市民目線で質の高い行政サービスを提供し、市民に親しまれて信頼される市役所を目指します。



そして最後に！
たくさんの方の取り組みを着実に進めるために、仕事の進め方やお金の使い方、工夫するよ

行政サービスの高度化

窓口に行かなくても行政手続きができるように、さまざまな申請や手続きのオンライン化を推進 など

多様な主体による連携・協働の推進

- ・民間企業などからの提案を受け付ける官民連携窓口の新設や、大学などとの連携により、地域課題の解決に向けた取り組みを推進
- ・各分野の企業家と市長が直接意見交換を行う事業を開催 など

財政運営の主な取り組み

～お金の使い方の工夫

「めりはりの利いた財政運営」「持続可能な財政構造に向けた不断の見直し」「将来世代に過度な負担を残さない健全な財政運営」の方針を基に、将来を見据えた取り組みを進めます。

計画的な財政運営

将来にわたって必要な行政サービスを提供できるように、長期的な財政収支を見据えつつ、5年間の収支の大枠である中期財政フレームを策定して進捗を管理 など

収入と支出の見直し

- ・市役所の業務や職員配置を効率化し、費用を削減
- ・毎年度、事業の効果検証に基づく見直しを行うほか、より長期的な視点で持続可能な施策の在り方を検討 など

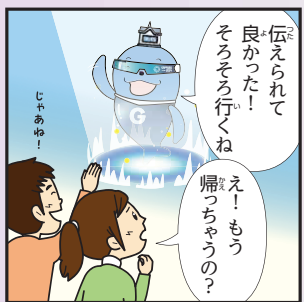
市税収入の増加を図る

スタートアップの創出・育成や企業誘致などを積極的に進め、個人市民税や法人市民税、事業所税の増収を図り、財政基盤を強化 など

市債や基金の適切な管理

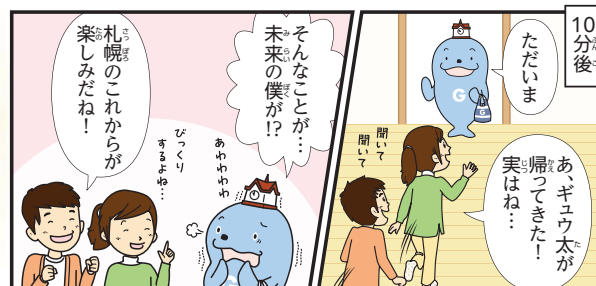
- ・将来世代に過度な負担を残さないように、市債残高を適切に管理
- ・基金の残額を適切な水準に保ち、将来に引き継ぐ など

将来の世代にも配慮してまわすための進め方だね



アクションプランの詳細を知りたい方は

計画の詳しい内容は、市公設ホームページに掲載しています（閲覧が難しい場合は、政策調整課までご相談を）。



スポーツ・文化

雪を生かして、街の魅力がアップ

市内のスキー場の魅力を高めるほか、冬の観光コンテンツを充実させるなど、スノーリゾートとして街をブランド化。市内や周辺のスキー場に気軽に往来でき、雪の体験を楽しむ人が増えています。

7億2,700万円



環境

省エネルギー化や水素エネルギーの利用が進んでいる

住宅の高断熱・高气密化や、灯油をエネルギー源とする暖房・給湯機器からCO₂排出量が少ない電気やガスの機器へ転換する補助を引き続き実施。市有施設の省エネルギー化なども進んでいます。

215億2,400万円

走行時にCO₂を排出しない電気自動車や、水素エネルギーの利用が進んでいます。

79億5,500万円

都市空間

街がリニューアル

北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業を見据えながら、札幌駅や大通周辺などの再開発事業を支援。都心の魅力を向上するための取り組みなどが進められています。

833億3,200万円

